

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 10 月 23 日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (10/23 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m ³ /h	26.4	3.3 kPa g	A系： 0.03	Vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.03	Vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	33.3	6.20 kPa g	A系： 0.06	Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.06	Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	31.9	0.20 kPa g	A系： 0.07	Vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： -	Vol%

※ 作業に伴いデータ欠測

<2. 使用済燃料プールの状況> (10/23 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	20.7 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	19.3 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	17.9 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘッドラジンの注入を適宜実施。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	3号機タービン建屋	10/11 10:46 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	10/11 10:05 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/23 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運 転	水バランスを みて断続運 転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

・H26/9/26 多核種除去設備B系については処理運転中だったが、定例サンプリングにおいて、系統水のカルシウム濃度が高いことを確認。現場調査により、クロスフローフィルタ(8B) 出口水において、若干の白濁が確認され、当該フィルタから炭酸塩が系統の下流側に流出していることが判明。このため、同日 15:22、多核種除去設備B系の処理運転を停止。

炭酸塩スラリーの流出が確認されたクロスフローフィルタ(8B)の点検を行った結果、パブリック試験において2箇所からエアの流出を確認。エアが流出した当該部について分解調査をしたところ、六角ガスケットの一部に変形および亀裂を確認したことから、当該箇所より炭酸塩スラリーが流出したものと推定。

調査の結果、六角ガスケットの一部に変形および亀裂が発生し炭酸塩スラリーが流出した原因は、バックパルス

ポット*作動時の圧力脈動と推定。設計上、許容される圧力の範囲内であったものの、バックパルスポット作動時に発生した微小な変位が蓄積され、炭酸塩スラリーを流出させる程の変形および亀裂に至ったと推定。なお、六角ガasketを調査した結果、弾性が確認されたため、放射線劣化等に起因する脆化の兆候は確認されなかった。再発防止対策として、バックパルスポット作動時の圧力を運転に影響がない範囲で低減する。また、ブースターポンプ1出口でのカルシウム濃度測定を日々実施し、監視しながら処理を継続。なお、炭酸塩スラリーの流出が確認されたクロスフローフィルタ(8B)については、予備品と交換を実施したことから、10/23 処理運転を再開予定。

*バックパルスポット:逆洗のための加圧装置

<5. その他>

- H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。
 - 4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。
 - 7/28～ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。
 - 8/12～ ドライアイスを追加で投入開始。
 - 10/16～ 2号機削孔ダクトについて、間詰め充填工事を開始。
 - 10/20～ 2号機立坑Aについて、間詰め充填工事を開始。
- H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
 - 6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。
 - 10/3～ 凍土遮水壁造成工事における凍結管設置に伴い、埋設物(トレンチ等)を貫通させて凍結管を設置する箇所を対象に、事前の溜まり水調査を開始。
- H26/10/22 7:08～ 1号機原子炉建屋カバー解体作業における放射性物質の飛散抑制対策の一環として、当該カバー屋根パネルを取り外す前に同パネルに孔をあけ、飛散防止剤を散布する作業を開始。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井No.1～12のサンプリングを継続実施中。(No.11は藻のような生物を汲み上げた原因調査のため、10/15より停止中)
- 1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備について、地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日10/14]は同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、10/23 10:10、海洋への排水を開始。同日10:14に漏えい等の異常がないことを確認。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【1～4号機サブドレンの状況】

- 10/18～ サブドレン他水処理施設については、一部のサブドレンピットを使用して、H26/8/12より安定稼働に向けた浄化性能確認試験等を開始しているが、残りのサブドレンピット28箇所を加え、計42箇所(実際はトリチウム濃度の高いNo.1,N14を除く40箇所)について、系統運転試験(STEP3-2)のための地下水のくみ上げを開始。
- 10/24～ 地下水ドレンピットを使用して、使用前検査のための地下水のくみ上げを開始予定。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。